**④　造林方法が人工造林の場合の造林に係る森林の状況報告**

**記入例**

伐 採 後 の 造 林 に 係 る 森 林 の 状 況 報 告 書

造林の期間の末日から30日以内であること。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和5年5月31日

　府中町長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　所　○○市○○町１－２－３

　　　　　　　　　　　　　　　　　　報告者　氏名 森林　太郎

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

　令和　年　月　日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき、次のとおり伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の８第２項の規定により報告します。

複数地番にまたがる場合は該当する地番を全て記載する。

　１　森林の所在場所

|  |
| --- |
| 府中町○○○丁目　　○○○番地、○○○番地 |

　２　伐採後の造林の実施状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 造林の  方　法 | 造林の  期　間 | 造　林  樹　種 | 樹種別の  造林面積 | 樹種別の  造林本数 | 作　業  委託先 | 鳥獣害  対　策 |
| 人工造林 | 植栽 | 令和5年  4月4日  ～  令和5年  5月18日 | 杉 | 1.00ha | 2,500本 | （有）○○林業 | 幼齢木保護具の設置 |
| 檜 | 1.00ha | 2,500本 |
| 天然更新 |  |  |  | ha | 本 |  |  |

３　備考

|  |
| --- |
| 令和５年３月１日に森林太郎から相続（共有者：森林三郎ほか２名） |

注意事項

相続等により届出書とは異なる森林所有者が提出する場合、当該相続等に係る情報を記載すること。

１　報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。

２　森林の所在場所ごとに記載すること。

３　造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。

４　樹種は、杉、檜、松（赤松及び黒松をいう。）、カラ松、エゾ松、トド松、その他の針葉樹、ブナ、クヌギ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。

５　面積は、小数第２位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

６　人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

７　天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。

８　鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。

**⑤　造林方法が天然更新の場合の造林に係る森林の状況報告**

**記入例**

伐 採 後 の 造 林 に 係 る 森 林 の 状 況 報 告 書

造林の期間の末日から30日以内であること。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和10年7月10日

　府中町長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　所　○○市○○町１－２－３

　　　　　　　　　　　　　　　　　　報告者　氏名 森林　太郎

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

　令和　年　月　日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき、次のとおり伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の８第２項の規定により報告します。

複数地番にまたがる場合は該当する地番を全て記載する。

　１　森林の所在場所

|  |
| --- |
| 府中町○○○丁目　　○○○番地、○○○番地 |

　２　伐採後の造林の実施状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 造林の  方　法 | 造林の  期　間 | 造　林  樹　種 | 樹種別の  造林面積 | 樹種別の  造林本数 | 作　業  委託先 | 鳥獣害  対　策 |
| 人工造林 |  |  |  |  |  |  |  |
| 天然更新 | ぼう芽更新、天然下種更新 | 令和5年  12月12日  ～  令和10年  6月18日 | クヌギ | 2.20ha | 7,000本 |  | 防護柵の  設置 |
| その他  広葉樹 | 1.10ha | 別添のとおり |

３　備考

複数の樹種を造林した場合、樹種ごとに記載すること。

|  |
| --- |
|  |

注意事項

１　報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。

２　森林の所在場所ごとに記載すること。

３　造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。

４　樹種は、杉、檜、松（赤松及び黒松をいう。）、カラ松、エゾ松、トド松、その他の針葉樹、ブナ、クヌギ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。

５　面積は、小数第２位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

６　人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

７　天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。

８　鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。

（別添の例２）

更新状況チェックリスト

（確認日：令和　年　月　日）

　☑　更新樹種の稚樹の樹高が周囲の

競合植物の草丈を十分上回ってい

る。

　☑　更新樹種の稚樹の本数が半径○

ｍの円内に○本以上生育してい

る。

　☑　伐採跡地が全体的に更新されて

いる。

　☑

　☑

（別添の例１）

造林地の写真

（撮影日：令和　年　月　日）

造林地全体の遠景

（数枚）

更新樹種の生育状況

（高さや成立本数）がわかる近景（代表的な更新樹種がわかる近接写真を含む）

（数枚）